

HbA1cの測定結果の表記(数値)が変わります

平成24年4月から日常臨床におけるHbA1cの測定結果は、原則として次の2種類が併記されることとなります。

- 従来から使用されている数値が、**「HbA1c(JDS)」**と表記されます。
- 新たに日本糖尿病学会が示した数値は、**「HbA1c(NGSP)」**と表記されます。

(例)従来HbA1c値が6.1%だったひとの場合の測定結果の表記

- **HbA1c (JDS) 6.1%** ※従来の数値
- **HbA1c (NGSP) 6.5%**

検査方法自体が変わるわけではありません。

新しい数値(National Glycohemoglobin Standardization Program : NGSP値)では、従来の数値(Japan Diabetes Society : JDS値)から概ね0.4%高くなりますのでご留意ください。

ただし、特定健診・特定保健指導に係る測定結果を保険者へ提出する際には、平成24年4月以降も従来どおりの数値(JDS値)のみを使用することになりますのでご留意下さい。

各医療機関は、検査の依頼や測定結果の報告に関する対応について、ご利用の登録衛生検査所等とご相談いただきますようお願いいたします。

※平成25年度以降の特定健診・特定保健指導における取り扱いは、今後関係者間で協議することになっています。

